

「はじめての探究学習」 ①


さて、なにを調べよう？

探究学習はじめの一步


調べたことを画用紙 1 枚にまとめる「ミニ調べ学習」を行います。何について調べるか、テーマは 1 人ずつ決めます。これまでの読書や授業、生活の中で生まれた疑問や興味を活かし、図書館を利用して自分の知りたいことを調べ、まとめます。インターネットの情報は、正しいかどうかの判断が難しいので、今回の「はじめての探究学習」では、本からのみ情報を集めます。資料が見つからないときは、先生や司書に相談して下さい。

「これは知らないともったいない!」「こんなにおもしろい話(ネタ)がある」など、後輩にとって役に立つもの、読んで面白いものをつくります。読んだみんなが思わず「へえ～」と言うようなものを目指しましょう。完成した作品は学園祭で展示予定です。

完成までのスケジュール

1	「はじめての探究学習」ガイダンス(今回) ・先輩の作品を読む ・図書館で資料になる本を借りて読む ・「はじめての探究学習」企画書を書く(次回提出)	
2	・「はじめての探究学習」企画書 提出 ・カードを使って書き始める 百科事典と自分で準備した本を使って、「情報カード」を 1 枚以上完成させる	
3・4	作業 2 時間： のり・はさみ・ペン等 持参 カードを作る／画用紙にまとめる	
4 回目の最後に	提出 【1 学期期末試験後 1 回目の授業】	

調べたい題材 テーマの候補 (3 つ以上書く。単語でも疑問文でもよい。)

候補 1 :	
候補 2 :	
候補 3 :	
候補 4 :	
候補 5 :	

☆ 本は 1 テーマにつき、必ず 3 冊以上借ります。

- ・本を借りてもどってきたら、「おもしろい!」「へえ~!」「友だちに教えてあげたい」など、自分の心が動いた箇所にふせん紙を貼りながら本を読みます。
- ・ふせん紙を貼った箇所が、企画書の 3.「調べる項目」の候補になります。

「はじめての探究学習」企画書



1. 借りた本の記録 ※ テーマの本は次回以降も持参すること

著者（書いた人）	タイトル（サブタイトル不要）	請求記号 [背表紙の数字]

2. 探究学習のテーマについて

テーマにすること：
テーマを考えた理由・きっかけ：なぜ調べようと思ったか、どういったことを明らかにしたいのか など
・
・
・

3. 調べる項目 ※ 本を読んで、調べる題材の、なにを調べるか考えます。

調べる項目 1	<input type="text"/>	とはなにか、どういったものか。
定義：	(単語)	
調べる項目 2		
調べる項目 3		
調べる項目 4		
調べる項目 5		

72 期 1 年 組 番 氏名

「はじめての探究学習」 ②

カードを使って書き始める

「定義」とは？

定義とは、「ことばの意味内容と、それが指し示す範囲を、あいまいさが残らないように、はっきりと定めること」（林四郎編、『例解新国語辞典 第六版』三省堂、2002年、p.774）、「あることの意味内容を、はっきりとことばで限定すること」（『総合百科事典 ポプラディア 新訂版 7巻』ポプラ社、2018年、p.146）です。同じことばを使っている人も、人によってそのことばが指す範囲や、思い浮かべているものが違ったりすることがあります。定義を確認することにより、自分が今回調べるテーマについて、自分はどこからどこまでの範囲を扱うのかをはっきりさせます。

「情報カード」にまとめる

せっかくメモしても、ノートに書いてしまうと、まとめるときになって整理が難しくなります。どこに何が書かれているのか探すのが大変だからです。そこで、集めた情報を自分の思うような形にまとめていくために、カードの形式で記録してみましょう。

「はじめての探究学習」企画書3を参考に、「情報カード」（裏面参照）を作ります。

「情報カード」には①「調べたことカード」②「わかったこと・考えたことカード」③「はじめにカード」④「おわりにカード」の4種類があります。①「調べたことカード」には、本からの引用（人のことば）だけを書き、「定義カード」も含まれます。

【情報カードのルール】※ このルールが守られていれば、色・形、なんでもOK

① 1枚1項目・裏面を使わない

② タイトル(見出し)をつける

③ もとの文章を勝手に変えない

→ 今回は「引用」します。「引用」では、もとの文章を勝手に変えてはいけません。

④ **著者『タイトル』, 引用ページ, 請求記号** を記録する

→ あとから情報を確認するのに必要です。このカードの情報が信頼できるかどうかの判断材料になります。

「定義カード」を作る

まずは百科事典で、自分のテーマがどのように「定義」されているかを調べます。

事典には物事の基本的なことがまとめられており、自分の調べたいことの全体をつかむことができます。いろいろな種類がありますが、まずはコンパクトに情報がまとめられている『総合百科事典 ポプラディア』（全12巻+補遺）がおすすめです。もう少し深い内容まで踏み込んでみたい人には、平凡社の『世界大百科事典』（全31巻）がおすすめです。字も小さく、ちょっと難解ですが、詳しく、頼りになります。新しいことばを調べたい人は『現代用語の基礎知識』になら載っているかもしれません。

ことばが見つからないときは「索引」を見ます。

もしかすると、調べたいことばは事典には載っていないかもしれません。事典を作るのはとても時間がかかり、収録できることばの数も有限です。そこで、新しいことばや、一般的には使われていないようなことばは収録されていないことがあるからです。その場合は、もう少しことばの意味を広げて、関連することばを調べてみましょう。

例：「ボーカロイド」 → キャラクター・電子音楽・作曲・歌手

「K-POP」 → 音楽・韓国・アイドル・芸能界・ダンス

「eスポーツ」 → スポーツ・コンピュータゲーム・ゲーム

調べることばの候補：

カードの例：

ネコとは

ネコ目ネコ科の哺乳類をネコという。一般的に世界中で飼育されているイエネコの品種群をさす。

『総合百科事典 ポプラディア 8』, p. 68, 031

なにかの形にしてみたり…

ネコとは

一般には、家畜のネコ、すなわちイエネコをさすが、広義には食肉目ネコ科の哺乳類の総称として用いる。

『世界大百科事典 22』, p. 33, 031

イラストを描いてもたのしいですね。

事典の場合、著者は省略してよい。

本日の課題：百科事典から情報カードを1枚（以上）つくる

- ① 百科事典から「定義」の情報カードを 最低1枚 つくります。
- ② 百科事典からカードをつくったら、持参した本のふせん紙を貼った箇所から情報を抜き出して、カードをつくります。
- ③ 裏面に 学年・クラス・出席番号・氏名・テーマ を記入して、提出します。
→ たくさん作った場合は、1枚だけ 提出します。

*** POINT ***

- ・自分が考えたことと、人が考えたことを分けて書く練習です。人が考えて書いたことを、自分が考えたように書いてはいけません！
- ・次回は、人の意見を書くだけでなく、そこで自分はどう思ったか、なにを考えたかを自分のことばで書く練習をします。

「はじめての探究学習」 ③

「アバター」を作る

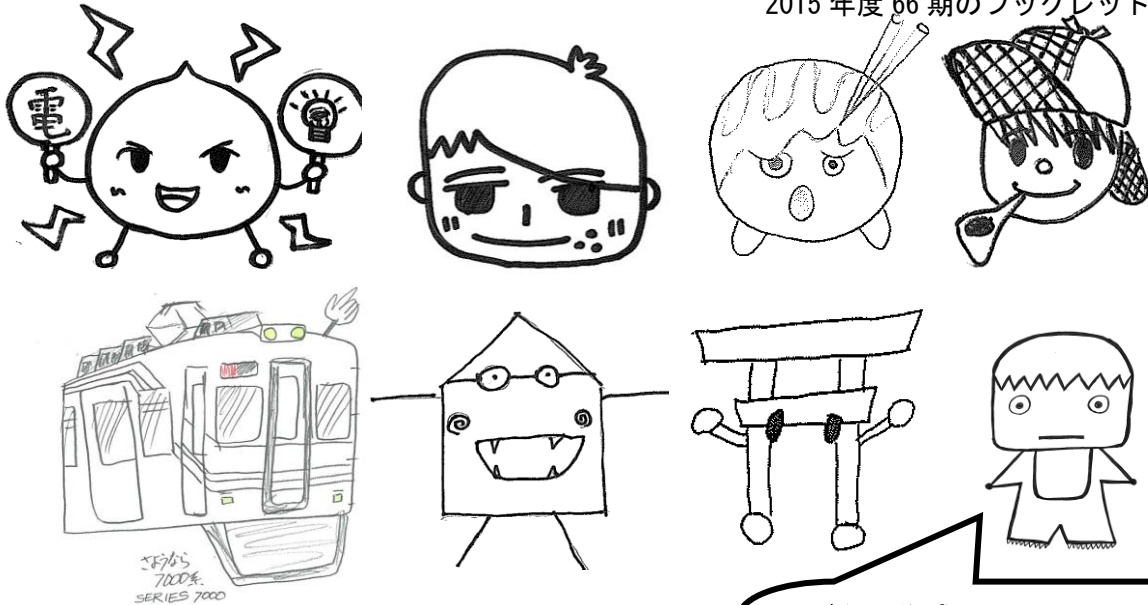
自分の分身（アバター）を登場させよう！

本に書かれていることを引用するばかりではおもしろくありません。「わたしが」どう思ったか、なにを考えたかを作品の中に入れましょう。

自分のコメントを入れるときには、自分の分身であるキャラクター（アバター）を使ってしゃべらせてみましょう。アバターはどんなデザインでもかまいませんが、既存のキャラクターを使うのは禁止です。オリジナルのアバターを考えてください。はじたんのテーマのイメージを膨らませたり、自分の好きなものから連想したり…。難しく考えず、好きに作って動かして、しゃべらせてみましょう。人間でなくても、ただの○や☆、棒人間なんかでもかまいません（顔を付けると表情が出てグッと親しみがわくかも）。たくさん作りたい人はたくさん作っても OK です。いっぱい登場させてしゃべらせて、あなたにしか作れない、オリジナリティあふれる作品にしましょう。

先輩たちのアバターの例

2015 年度 66 期のブックレットより



アバターのアイデア

アバター作成のコツ

- ・なるべくシンプルに。
- ・LINE のスタンプのようにいろんな表情を作っておくと、応用が利きます。

次回授業で提出！

72 期 1 年 組 番 氏名

「はじめての探究学習」 ④

作品の出来上がりを考える

分量を選べます

書きたいことが多すぎて画用紙1枚にはどうしても収められない！ という人のために、画用紙複数枚を貼り合わせて、本のようにする形式もOKにすることにしました。この方法を絵本とじ（合紙製本(ごうしせいほん)）といいます。画用紙1枚でまとめるか、3枚以上で絵本のような形式にするか、どちらかを選んでください。どちらにも、それぞれのよさと難しさがあります。

「はじたん」の7要件 ※ 次々回提出

1. 参考文献は3冊以上
2. 「調べたことカード」に出典を書く…著者『タイトル』、ページ、分類番号
3. 「はじめにカード」がある
4. 「定義カード」がある
5. 「アバター」にコメントを言わせる…わかったこと・考えたことカード。ふきだしでもよい
6. タイトルをつける…目立つように大きく、具体的に
7. 奥付・責任表示の請求番号は百科事典以外の一番使った参考文献と同じ番号にする

① 画用紙1枚にまとめる

「はじめに」カードは必須！左上に貼る

「定義カード」は必須！

タイトルは目立つように大きめに！

スペースがなければ「おわりに」カードは省略可

「奥付・責任表示」は右下に貼る ※はじめに貼ってしまいましょう。

② 画用紙3枚以上にまとめる(絵本とじ):レイアウトの例

タイトル

はじめに

もくじ

1

2

3

4

おわりに

奥付・責任表示を貼る

・作ったカードを貼りつけていく

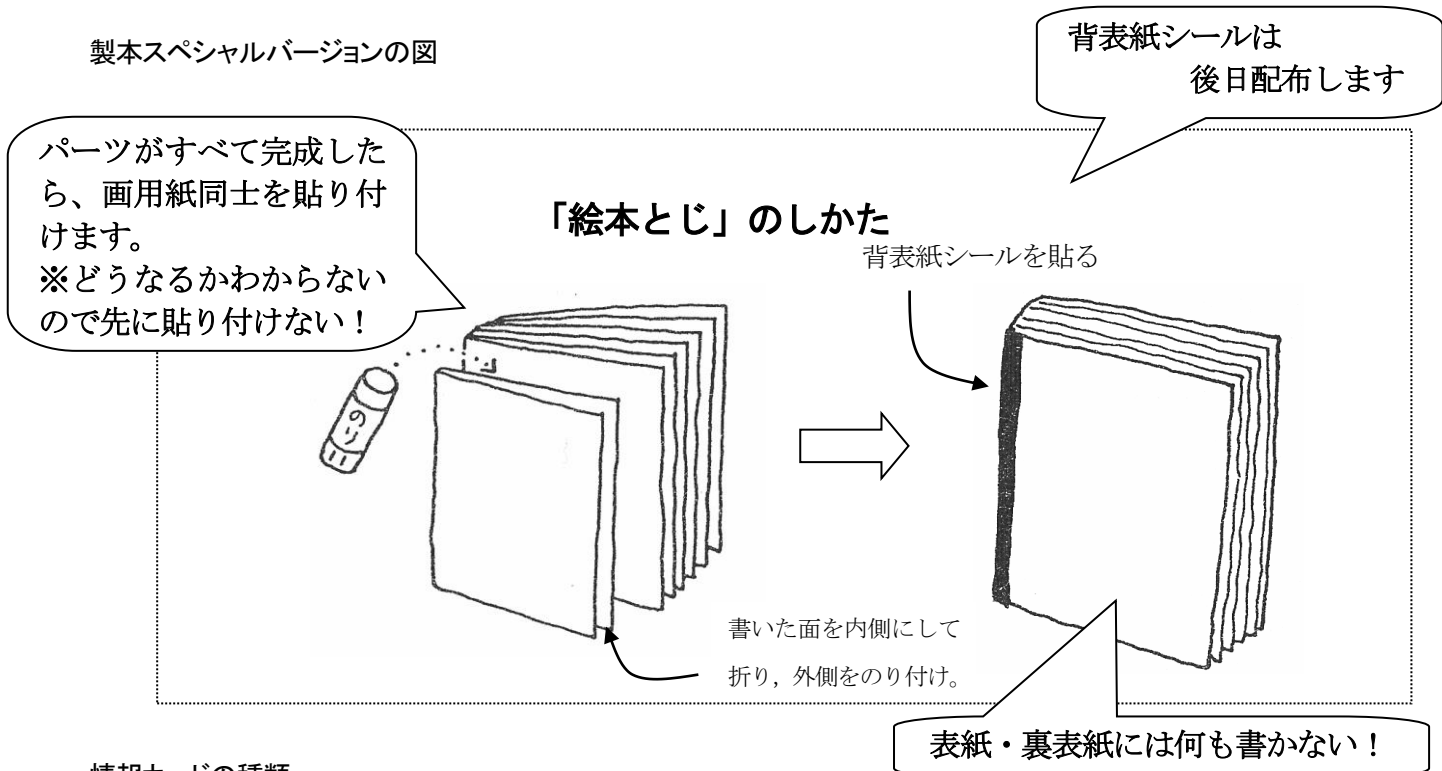
・本文ページはどこから作ってもOK

・「はじめに」「もくじ」「おわりに」は最後に作る

・見開き1ページずつ作っていくとわかりやすい👍

・ページごとに見出しをつけるとわかりやすい👍

製本スペシャルバージョンの図



情報カードの種類

「情報カード」には①「調べたことカード」②「わかったこと・考えたことカード」③「はじめにカード」④「おわりにカード」の4種類があります。①「調べたことカード」には、本からの引用（人のことば）だけを書き、「定義カード」も含まれます。

調べたことカード

タイトル（見出し）をつけます

すこしだけでも一枚に1項目

マリモってなに？

シオグサ科シオグサ属の緑藻植物。北半球の温帯から寒帯の湖沼に分布する淡水生の藻類。

からだは細長い糸状で、たがいにからみ合って、マット状や丸みのあるかたまり（群体）になる。

『総合百科事典 ポブラディア 9』、p.276、031

うらには書きません

本の名前（巻数も）とページ数、請求記号を書きます

わかったこと・考えたことカード

タイトルを書きます。

マリモはきれいな湖の仲間♡
きれいなマリモが育つには阿寒湖のようなきれいな湖が必要なのがわかりました。
もし、きれいな湖が増えたなら日本中で私の好きなマリモがみられるようになるかもしれません！

アバターに語らせます。

自分らしい素敵な作品ができます！

はじめにカード

「はじめに」ですが最後の方で書きます。

はじめに

なぜ私がマリモを調べようとおもったのかというと、北海道に旅行にいった人からマリモをもらったからです。私はこのマリモに「まりちゃん」という名前をつけて、飼うことにしました。でも、いったいマリモがどんな生き物なのかさっぱりわかりませんでした。そこで...

調べることになったきっかけをなるべくくわしく書きます

おわりにカード（省略可）

「はじめに」同様、最後の方で書きます。

おわりに

マリモはほそながい糸状で、それがからみあってできていること、マリモが暮らせる場所が減っていること、まるいマリモばかりでないことなどがわかりました。

マリちゃんが盗まれたマリモではないことを願いながら、マリモのように、絶滅の危機に瀕している生物について知りたかったです。

調べてみてわかったこと、今回調べきれなかったこと、感想などをまとめます。